第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第68回日本化学療法学会西日本支部総会 @アクロス福岡 2020年11月5日-7日



なかがみ

中頭病院 感染症内科 総合内科/集中治療科

戸髙 貴文

- 1. 感染症医を目指そうと決めた時期や理由
- 2. これまでどのような経験を積んできたのか
- 3. 今後はどのような道に進んでいきたいのか
- 4. 感染症医を目指す後輩たちへのメッセージ

戸髙貴文(とだかたかふみ) 医師 10年目

学歴

2001年3月 宮崎県立宮崎西高校卒

2005年3月 大阪大学 基礎工学部 システム科学科卒業

2007年3月 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 システム情報学専攻修了

2011年3月 島根大学 医学部 医学科卒業

職歴

2011年4月 豊見城中央病院(現 友愛医療センター) 初期研修・後期研修(内科ローテート)

2015年4月 中頭病院 感染症内科・総合内科(感染症フェロー)

2018年4月 中頭病院 呼吸器内科

2018年7月 中頭病院 集中治療科(兼)

<u>資格</u>

総合内科専門医, 感染症専門医, 集中治療専門医



群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春医師





Muribushi Project for Okinawa Residency Programs



多数の研修病院が一致協力して明日の良き臨床家を育成する。 Produce future bright clinicians by collaboration of multiple hospitals



研修医にとってベストの教育環境を構築する。Develop the best educational environment for residents



3 エビデンスに基づく医療を実践するために学習する。 Learn to practice evidence-based medicine



救急とブライマリケア研修を実践する。 Provide emergency and primary care training



世界中との医学医療交流を通じ Professional Development に力を注ぐ。
Engage in professional development by collaborating with international medicine



研修医の海外臨床留学制度を発展させる。
 Assist residents to experience oversea clinical training



研修医と共に医療の質を向上させる。 Improve quality of care with residents

ネーミングの由来 ★ * * * 将来の夢・大きな希望を抱いて

「明日の臨床医を夢見る日本全国の医学生へ、医師としての第一歩を沖縄で踏み出してほしい」「研 修医一人ひとりに、満天の星のごとく志高く輝いてほしい」との思いをこめました。

指導医自身、良医を育てるという重大な責務を負う中で、内容のあるプロジェクトに発展させる夢

2004年卒後研修必修化を契機に、沖縄から、地元大学の医学生はもとより全国の医学生へのメッセー ジとして、沖縄の群星(むりぶし)の如く…

http://muribushi-okinawa.com/images/guidebook2020.pdf

病床数 355床(ICU 12床 HCU 16床)

平均在院日数 10.4日(2018年度)

病床稼働率 100%(2018年度)

救急搬送件数 6,968件(2018年度)

医師数 170名 うち初期研修医 29名(2020年4月1日現在)

総合・感染症内科スタッフ 5名(兼務含む)+専攻医+初期研修医

集中治療科スタッフ

4名(兼務含む)+専攻医+初期研修医

救急科スタッフ

7名(兼務含む)+専攻医+初期研修医



中部徳洲会病院 368床 6,357件(2018年度)



一分派を合うでは近例の宝庫

- ・敗血症性ショック
- 呼吸不全 → 挿管管理
- DKA(糖尿病性ケトアシドーシス)
- AKA(アルコール性ケトアシドーシス)
- 初診時にHbA1c 10%超えの患者
- ・初診時に黄疸、アルコール性肝硬変と判明 など

当時の感染症内科・総合内科

- ・指導医(現在の集中治療科のボス)がトップ
- ・複数グループ制(後期研修医1人+初期研修医1-2名)
- ・他科からの感染症コンサルテーション
- ・ 同法人のクリニックや救急, 内科外来からの入院依頼
- ・初期研修医1年目から総合外来担当
- 主治医として全体で常時30-40名 + コンサルテーション10-20名

指導医(現在の集中治療科のボス)の一言

常に100%ではなく、7-8割出来ればいい 専門的なことは専門科に任せればいい

臨床感染症は必須

→ 感染症

幅広く内科を診れるようになりたい

→ 総合内科

重症患者をマネジメントしたい

→ 集中治療

1. 感染症医を目指そうと決めた時期や理由

答 2年目12月

中頭病院での感染症内科・総合内科での1ヶ月の研修 学びたいと思った3つ(集中治療・内科・感染症)の1つ

- 1. 感染症医を目指そうと決めた時期や理由
- 2. これまでどのような経験を積んできたのか
- 3. 今後はどのような道に進んでいきたいのか
- 4. 感染症医を目指す後輩たちへのメッセージ

3-4年目 豊見城中央病院

呼吸器内科 6ヶ月

ICU 2ヶ月

循環器内科 6ヶ月

神経内科 3ヶ月

系列病院 3ヶ月

腎臓内科 6ヶ月

5年目 中頭病院



中頭病院感染症内科の業務

- ・ 救急/外来からの入院依頼
- · ICU/HCU入室した敗血症症例の引き継ぎ
- ・ 自身で入院とした症例の担当
- 他科からのコンサルテーション
- 血液培養陽性例の介入
- ・ 広域抗菌薬(カルバペネム系+キノロン系)使用時の介入
- ICT (Infection Control Team)

呼吸器系

肺炎球菌性肺炎 インフルエンザ菌肺炎

モラキセラ肺炎

マイコプラズマ肺炎

レジオネラ肺炎

誤嚥性肺炎

器質化肺炎

肺結核

肺膿瘍(肺化膿症)

膿胸

敗血症性肺塞栓症

泌尿器系

急性腎盂腎炎

腎膿瘍

カテーテル関連尿路感染症

結石性腎盂腎炎

気腫性腎盂腎炎

急性前立腺炎

前立腺膿瘍

消化器系

胆管炎

肝膿瘍

Lemmel症候群

サイトメガロウイルス腸炎

Clostridioides difficile腸炎

筋•骨格系

化膿性脊椎炎

化膿性関節炎(肩・膝)

壊死性筋膜炎

蜂窩織炎

丹毒

後頚部膿瘍

臀部膿瘍

褥瘡感染•骨髄炎

播種性帯状疱疹

多発皮膚潰瘍

ネコ・イヌ咬傷

ネコひっかき病

脳神経系

細菌性髄膜炎

肺炎球菌

ブタ連鎖球菌

Klebsiella pneumoniae

ヘルペス脳炎

帯状疱疹髄膜炎

ムンプス髄膜炎

脳室炎

無菌性髄膜炎

広東住血線虫症

(好酸球性髄膜炎)

心血管系

感染性心内膜炎

人工弁感染性心内膜炎

感染性胸部大動脈瘤

バルサルバ洞破裂

耳鼻咽喉系

扁桃周囲膿瘍

伝染性単核球症

重症例

侵襲性肺炎球菌感染症 市中感染型MRSA感染症

3年間で経験した症例

非感染症

低·高Na血症

低·高K血症

高Ca血症(薬剤性)

成人発症Still病

高安病

副腎不全

胃·十二指腸潰瘍

進行胃癌・癌性髄膜炎

肺塞栓症

無顆粒球症

1型糖尿病

アルコール性ケトーシス

COPD急性増悪

喘息発作

脳梗塞

Wallenberg症候群

心原性脳塞栓症

Trousseu症候群

アナフィラキシー

ビタミンB12欠乏性貧血

自己免疫性溶血性貧血

血球貪食症候群·MDS

上腸間膜動脈解離

腹腔動脈解離

神経調節性失神

左腎囊胞内出血

CTRXによる胆泥→発作

急性腎不全

尿崩症

3年間で経験した症例

当院の研修で経験できなかったこと

- HIV
- ワクチン・輸入感染症
- ・ 他院 感染症科での研修
- ・細菌検査室での研修

2018年7月~現在 集中治療科(兼)

	月	火	水	木	金	土
AM	ICU	ICU	ICU	ICU	外来	ICU
РМ	外来	ICU	外来	ICU	ICU	休

外来:総合•感染症外来

月5~7回 ICU当直

- 1. 感染症医を目指そうと決めた時期や理由
- 2. これまでどのような経験を積んできたのか
- 3. 今後はどのような道に進んでいきたいのか
- 4. 感染症医を目指す後輩たちへのメッセージ

将来は…?

- ・ 集中治療に専念
- ・ 総合内科(それぞれ専門のある複数の医師で1つのチームに)
- ・ 他の病院で後進の育成(内科, 感染症, 集中治療)
- · 地域医療, 離島医療
- ・ 臨床研究, 公衆衛生を学ぶために大学院へ進学

- 1. 感染症医を目指そうと決めた時期や理由
- 2. これまでどのような経験を積んできたのか
- 3. 今後はどのような道に進んでいきたいのか
- 4. 感染症医を目指す後輩たちへのメッセージ

ロールモデルとなる指導医との出会い

が鍵になると思います。



当院では、浴びるようにcommon diseaseを経験できます. 沖縄に住んでみたい、体力に自身がある方はぜひ.